2026年1月末

三井住友海上プライマリー生命の「投資型年金」

ダブルウィング

変額個人年金保険（災害死亡 30%型）

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株式アクティブA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA4	フィデリティ投信株式会社	1
日本株式アクティブB	フィデリティ・日本小型株・ファンドVA4		2
日本株式インデックスA	日本株式インデックス・ファンド VA1	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	3
外国株式インデックスA	外国株式インデックス・ファンド VA1		4
ジャナス外国株式ストラテジック	ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド	ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・リミテッド	5
ジャナス外国株式フォーティ	ジャナス・フォーティ・ファンド		6
外国債券インデックスA	外国債券インデックス・ファンド VA1	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	7
ジャナス外国債券フレックス	ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド	ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・リミテッド	8
ジャナス外国債券ハイイールド	ジャナス・ハイイールド・ファンド		9
SMAM・バランス25 SMAM・バランス50 SMAM・バランス75	SMAM・バランスファンドVA25 SMAM・バランスファンドVA50 SMAM・バランスファンドVA75	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	10
マザーファンドの状況			11
ジャナス・バランス	ジャナス・バランス・ファンド	ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・リミテッド	13
グローバル不動産投信	ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド		14
マネーA	フィデリティ・マネー・プールVA	フィデリティ投信株式会社	15

三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

MSPL-2010-B-0417-00

特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命のダブルウィング〔変額個人年金保険（災害死亡 30%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、［組入投資信託の運用状況］に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。

・［組入投資信託の運用状況］は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。

・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項　目	目　的	費　用	時　期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.30%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
日本株式アクティブ A	1.298%程度
日本株式アクティブ B	1.408%程度
日本株式インデックス A	0.275%程度
外国株式インデックス A	0.418%程度
ジャナス外国株式ストラテジック*1	1.5%程度*4

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
ジャナス外国株式フォーティ*1 *2	1.5%程度*4
外国債券インデックス A	0.308%程度
ジャナス外国債券フレックス*1	0.85%程度*4
ジャナス外国債券ハイイールド*1	1%程度*4
SMAM・バランス 25*6	0.33%程度

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
SMAM・バランス 50*6	0.33%程度
SMAM・バランス 75*6	0.33%程度
ジャナス・バランス*1	1.25%程度*4
グローバル不動産投信*1 *3	1.25%程度*4
マ　ネ　ー　A	0.00935%～0.55%程度*5

＊1　2005 年 7 月 1 日より追加設定されました。　＊2　2017 年 12 月 15 日、「ジャナス外国株式トゥエンティ」より名称変更されました。
＊3　2007 年 7 月 1 日、「ジャナス米国不動産投信」より名称変更されました。
＊4　資産運用関係費は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託にかかりますが、当該投資信託は外国投資信託であるため、国内では消費税はかかりません。
＊5　前月の最終営業日を除く最終 5 営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。
＊6　2015 年 12 月 14 日、「レッグ・メイソン・セレクト 30 ／ 50 ／ 70」より変更されました。

ご注意

・資産運用関係費は信託報酬（管理報酬）を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項　目	費　用		時　期
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円／回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 2.30%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して 1～8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して 1～8%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。
※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日（増額日）からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	**8%**	**8%**	**7%**	**7%**	**6%**	**5%**	**4%**	**3%**	**2%**	**1%**	**0%**

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項　目	費　用	時　期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

組入投資信託の運用状況

特別勘定の名称：日本株式アクティブA

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA4

ダブルウィング

① 主として日本株を投資対象とします。
② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

設定来の運用実績 （2026年1月30日現在）

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント （2026年1月30日現在）

当月の東京株式市場は、衆議院の解散観測などを背景に月半ばまで上昇しましたが、その後は財政悪化懸念や為替動向への警戒感から上値の重い推移となりました。
人工知能（AI）関連の需要拡大期待を背景に米半導体株が上昇する中、株価は堅調に推移して始まりました。中国がレアアースの輸出規制強化を検討しているとの報道を受け、日中関係の悪化懸念が重しとなる場面もありましたが、高市首相の衆議院解散観測が強まると、政策推進への期待から海外投資家の買いが優勢となり、TOPIX、日経平均株価は共に月半ばに史上最高値を更新しました。しかしその後は、デンマーク領グリーンランドを巡る米欧対立への懸念に加え、衆議院選挙戦で与野党から食品消費税の減税方針が打ち出されたことを背景に、財政悪化が懸念されて国内長期金利が上昇したことなどが重しとなり、株価は軟調な推移に転じました。米欧間の対立懸念が後退すると一時的に持ち直しましたが、日米当局による為替介入への警戒感から円相場が対ドルで急伸したことや、衆議院選挙の先行き不透明感から上値の重いまま月を終えました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋4.62%、日経平均株価は＋5.93%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

商品概要

形　態	追加型投信／国内／株式
投資対象	わが国の株式等
設 定 日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決 算 日	原則、毎年11月30日（休業日のときは翌営業日）

累積リターン （2026年1月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.95%	6.40%	20.32%	29.26%	68.10%	488.42%
ベンチマーク	4.62%	7.21%	22.54%	31.07%	94.19%	499.03%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）
＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円
第 24期(2025.12.01)	0円

純資産総額	0.5 億円	（2026年1月30日現在）

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース） （2025年12月30日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	5.1%
2	日立製作所	電気機器	4.9%
3	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	4.0%
4	ﾄﾖﾀ自動車	輸送用機器	3.8%
5	伊藤忠商事	卸売業	3.3%
6	大成建設	建設業	2.3%
7	横浜ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	2.2%
8	きんでん	建設業	2.2%
9	みずほﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	2.1%
10	ﾘｸﾙｰﾄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	サービス業	2.0%

（ 組入銘柄数 ： 179 ）　上位10銘柄合計　32.1%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース） （2025年12月30日現在）

資産別組入状況

株式	98.6%
新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ)	－
投資信託・投資証券	－
現金・その他	1.4%

市場別組入状況

東証プライム	97.5%
東証スタンダード	0.8%
東証グロース	0.3%
その他市場	－

組入上位5業種

電気機器	22.1%
銀行業	12.2%
建設業	8.0%
輸送用機器	7.6%
卸売業	6.1%

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信株式会社

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：日本株式アクティブB

フィデリティ・日本小型株・ファンドVA4

ダブルウィング

① 日本国内の比較的規模の小さい企業の株式を主要な投資対象とします。
② 個別企業分析により、比較的規模の小さい高成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

設定来の運用実績 （2026年1月30日現在）

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。（設定から2003年8月末までは東証第二部株価指数（配当金込）、2003年9月から2009年2月末まではRussell/Nomura Small Capインデックス（配当金込）を連続させて指数化しております。）※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント （2026年1月30日現在）

当月の東京株式市場は、衆議院の解散観測などを背景に月半ばまで上昇しましたが、その後は財政悪化懸念や為替動向への警戒感から上値の重い推移となりました。人工知能（AI）関連の需要拡大期待を背景に米半導体株が上昇する中、株価は堅調に推移して始まりました。中国がレアアースの輸出規制強化を検討しているとの報道を受け、日中関係の悪化懸念が重しとなる場面もありましたが、高市首相の衆議院解散観測が強まると、政策推進への期待から海外投資家の買いが優勢となり、TOPIX、日経平均株価は共に月半ばに史上最高値を更新しました。しかしその後は、デンマーク領グリーンランドを巡る米欧対立への懸念に加え、衆議院選挙戦で与野党から食品消費税の減税方針が打ち出されたことを背景に、財政悪化が懸念されて国内長期金利が上昇したことなどが重しとなり、株価は軟調な推移に転じました。米欧間の対立懸念が後退すると一時的に持ち直しましたが、日米当局による為替介入への警戒感から円相場が対ドルで急伸したことや、衆議院選挙の先行き不透明感から上値の重いまま月を終えました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が＋4.62%、日経平均株価は＋5.93%でした。Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス（配当込）が＋4.85%、東証グロース市場250指数は＋4.92%となり、前月まで調整が続いていた新興市場は反発しました。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

商品概要

形　態	追加型投信／国内／株式
投資対象	わが国の小型株式等
設 定 日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決 算 日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン （2026年1月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.44%	9.03%	17.99%	31.18%	67.13%	333.43%
ベンチマーク	4.85%	10.26%	22.18%	34.01%	90.27%	643.90%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス*（配当金込）
（但し、設定から2003年8月末日までは東証第二部株価指数（配当金込）、2003年9月から2009年2月末日まではRussell/Nomura Small Capインデックス（配当金込）でした。）
※ 累積リターンは、2003年8月末までの東証第二部株価指数（配当金込）、2009年2月末までのRussell/Nomura Small Capインデックス（配当金込）、及び現在のベンチマークの騰落率を連続させて計算しております。
*Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスとは、Russell/Nomura日本株インデックスの中小型株指数です。Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額中位35%と時価総額下位15%をカバーし、Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックスおよびRussell/Nomura Mid-Small Cap Value インデックスを含みます。
Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びRussell/Nomura Mid-Small Cap インデックスに関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円
第 24期(2025.12.01)	0円

純資産総額	0.3 億円	（2026年1月30日現在）

組入上位10銘柄 （マザーファンド・ベース） （2025年12月30日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	ふくおかﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	2.9%
2	大阪ｿｰﾀﾞ	化学	2.8%
3	横浜ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	2.5%
4	富士電機	電気機器	2.4%
5	ｽｽﾞｷ	輸送用機器	2.3%
6	T&Dﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	保険業	2.0%
7	ﾖﾈｯｸｽ	その他製品	2.0%
8	ｻｲｾﾞﾘﾔ	小売業	2.0%
9	住友ｺﾞﾑ工業	ゴム製品	1.9%
10	INPEX	鉱業	1.8%

（ 組入銘柄数 ： 81 ）　上位10銘柄合計 22.6%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況 （マザーファンド・ベース） （2025年12月30日現在）

資産別組入状況

株式	99.2%
新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ)	－
投資信託・投資証券	－
現金・その他	0.8%

市場別組入状況

東証プライム	89.2%
東証スタンダード	6.9%
東証グロース	3.2%
その他市場	－

組入上位5業種

電気機器	8.3%
化学	7.1%
情報・通信業	6.9%
建設業	6.8%
小売業	6.6%

（対純資産総額比率）

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
* 業種は東証33業種に準じて表示しています。
* 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信株式会社

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

日本株式インデックス・ファンドVA1＜適格機関投資家限定＞ 月次運用報告書

追加型投信／国内／株式／インデックス型
2026年1月30日現在

設定・運用：
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

基準価額	43,792円
純資産総額	1,498百万円
銘柄数（マザーファンド）	1,658
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.275%（税抜0.25%）

マザー純資産総額	50,261百万円
β値	1.00
推定トラッキングエラー	0.01%

＜商品の特色＞
◆投資目的
日本の証券取引所に上場されている株式を投資対象とした「日本株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ」受益証券に投資することにより、中長期的にTOPIX（東証株価指数、配当込み）の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。
◆投資対象
日本株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ受益証券を主たる投資対象とします。

＜1月の市場概況＞
1月の国内株式市場は、為替介入への警戒感から円高・ドル安が進んだことが重荷となりましたが、米半導体株高や米欧株式相場の上昇を受けた投資家のリスク選好姿勢に加えて、高市早苗政権への政策期待も相場を支える中、上昇しました。TOPIX指数は前月末比4.62%上昇し、3566.32ポイントで終了しました。（配当込みTOPIX指数は4.62%の上昇でした。）
上旬は、中国政府がレアアース（希土類）の輸出を規制するとの警戒感が重荷となりましたが、米半導体株高や米欧株式相場の上昇を受けた投資家のリスク選好姿勢を受けて、上昇しました。
中旬は、利益確定売りやデンマーク領グリーンランドを巡る米欧対立懸念が重荷となりましたが、高市早苗政権の政策期待から日本株の先高観が強まる中、上昇しました。
下旬は、好決算を発表した銘柄への買いが相場を支えましたが、為替介入への警戒感から円高・ドル安が進んだことから、下落しました。

基準価額騰落率	設定来	1年間
（税引前分配金込）	337.92%	30.66%

騰落率

	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	4.60%	4.62%	−0.02%
3ヶ月	7.11%	7.21%	−0.09%
6ヶ月	22.32%	22.54%	−0.21%
1年	30.66%	31.07%	−0.41%
2年	45.70%	46.65%	−0.95%
3年	91.95%	94.19%	−2.24%
設定来	337.92%	376.15%	−38.23%

設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移
2026年1月30日現在

注：ベンチマーク（TOPIX（東証株価指数、配当込み））は、2004年6月10日を10,000として換算し直しています。

上位5業種構成比※

業種	比率
電気機器	17.83%
銀行業	10.59%
卸売業	7.70%
輸送用機器	6.60%
情報・通信業	6.27%

分配実績（税引前）

決算期	分配金
第 17期（2021年3月5日）	0円
第 18期（2022年3月7日）	0円
第 19期（2023年3月6日）	0円
第 20期（2024年3月5日）	0円
第 21期（2025年3月5日）	0円

上位20銘柄※

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.55%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.32%
3	日立製作所	電気機器	2.62%
4	ソニーグループ	電気機器	2.27%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.25%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.80%
7	東京エレクトロン	電気機器	1.67%
8	三菱商事	卸売業	1.65%
9	三菱重工業	機械	1.63%
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.56%
11	アドバンテスト	電気機器	1.53%
12	三井物産	卸売業	1.46%
13	伊藤忠商事	卸売業	1.33%
14	任天堂	その他製品	1.21%
15	リクルートホールディングス	サービス業	1.17%
16	東京海上ホールディングス	保険業	1.10%
17	キーエンス	電気機器	1.08%
18	三菱電機	電気機器	1.02%
19	HOYA	精密機器	0.95%
20	武田薬品工業	医薬品	0.89%

※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
○当ファンドは主に日本の株式に投資するため、組入れた株式の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国株式インデックス・ファンドVA1（適格機関投資家専用）
月次運用報告書

追加型投信／海外／株式／インデックス型

設定・運用：
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

2026年1月30日現在

基準価額	111,006円
純資産総額	458百万円
銘柄数（マザーファンド）	1,157
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.418%（税抜0.38%）

マザー純資産総額	452,844百万円
β値	1.00
推定トラッキングエラー	0.01%

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移
2026年1月30日現在

注：ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）のデイリー・リターンをTTM レートで円換算し、2002年9月23日を10,000 として換算し直しています。

＜商品の特色＞
◆投資目的
日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とした「外国株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ｵｰﾌﾟﾝ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。
◆投資対象
外国株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ｵｰﾌﾟﾝ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ受益証券を主たる投資対象とします。

<1月の市場概況>
1月の外国株式市場は、デンマーク自治領グリーンランドを巡る米欧対立懸念から調整する場面がありましたが、米経済の先行きに対する楽観的な見方やドイツ経済の回復期待に加えて、堅調な商品相場や中国当局による政策期待も相場を支える中、上昇しました。
米国市場は、利益確定売りやグリーンランドを巡る米欧対立懸念から調整する場面がありましたが、米経済の先行きに対する楽観的な見方が相場を支える中、上昇しました。ダウ平均は48,892.47（前月比+1.73%）、ナスダック総合指数は23,461.82（前月比+0.95%）、S&P500指数は6,939.03（前月比+1.37%）で終了しました。
欧州市場は、グリーンランドを巡る米欧対立懸念から調整する場面がありましたが、米株高やドイツ経済の回復期待に加えて、地政学リスクの高まりから防衛・航空関連銘柄が買われたことも相場を支えました。英FTSE100指数は10,223.54（前月比+2.94%）、仏CAC40指数は8,126.53（前月比-0.28%）、独DAX指数は24,538.81（前月比+0.20%）で終了しました。
アジア市場は、オーストラリア市場は豪準備銀行（中央銀行）の利上げ観測が重荷となりましたが、堅調な商品相場や米欧株式相場の上昇を背景とした投資家のリスク選好姿勢を受けて、上昇しました。香港市場は米株高や中国当局による政策期待が相場を後押ししました。豪ASX200指数は8,869.15（前月比+1.78%）、香港ハンセン指数は27,387.11（前月比+6.85%）で終了しました。

1月の外国為替市場は、米経済の底堅さを受けた米長期金利上昇や衆院解散を巡る財政拡張懸念が円売り・ドル買い材料となりましたが、日米が協調で為替介入に踏み切るとの警戒感から円高・ドル安が進みました。ユーロに対しても円高となりましたが、欧州の政策金利据え置き観測や米欧株式相場の上昇を受けた投資家のリスク選好姿勢がユーロの支援材料となりました。その他主要国通貨に対してはまちまちの展開となりました。円は対米ドルで月間1.85%上昇の153.66円となりました。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）のパフォーマンスは前月比-0.09%となりました。

信託財産構成比※

項目	国名	2026/1/30
外国株式	[全体]	94.1%
	<北米>	74.6%
	アメリカ	71.1%
	カナダ	3.5%
	<アジア・太平洋>	2.6%
	オーストラリア	1.6%
	香港	0.5%
	シンガポール	0.4%
	ニュージーランド	0.0%
	<ヨーロッパ>	16.6%
	イギリス	3.7%
	フランス	2.6%
	ドイツ	2.4%
	スイス	2.4%
	オランダ	1.4%
	イタリア	0.8%
	スペイン	1.0%
	スウェーデン	0.9%
	フィンランド	0.3%
	ベルギー	0.3%
	アイルランド	0.1%
	デンマーク	0.5%
	ノルウェー	0.2%
	ポルトガル	0.1%
	オーストリア	0.1%
	<アフリカ・中東>	0.3%
	イスラエル	0.3%
その他(現金及び株価指数先物)		5.9%

分配実績（税引前）

第10期	(2011.11.30)	0円
第11期	(2012.11.30)	0円
第12期	(2013.12.2)	0円
第13期	(2014.12.1)	0円
第14期	(2015.11.30)	0円
第15期	(2016.11.30)	0円
第16期	(2017.11.30)	0円
第17期	(2018.11.30)	0円
第18期	(2019.12.2)	0円
第19期	(2020.11.30)	0円
第20期	(2021.11.30)	0円
第21期	(2022.11.30)	0円
第22期	(2023.11.30)	0円
第23期	(2024.12.2)	0円
第24期	(2025.12.1)	0円

基準価額騰落率	設定来	1年間
（税引前分配金込）	1010.06%	18.11%

騰落率

	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	-0.16%	-0.09%	-0.07%
3ヶ月	3.39%	3.60%	-0.21%
6ヶ月	14.19%	14.61%	-0.41%
1年	18.11%	19.07%	-0.96%
2年	49.61%	52.00%	-2.39%
3年	101.73%	106.63%	-4.91%
設定来	1010.06%	1310.39%	-300.33%

上位10銘柄※

	銘柄名	投資国名	業種名称	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.5%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.5%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6%
4	AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.3%
6	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
7	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
8	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.7%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.4%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.0%

※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
○当ファンドは主に外国の株式に投資するため、組入れた株式の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：ジャナス外国株式ストラテジック

ジャナス・ストラテジック・バリュー・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド*への投資を通して、米国の中小型株式を実質的な主要投資対象とします。

① 主に米国の中小型割安（バリュー）株式に幅広く投資します。
② 企業の本源的価値に対して、割安な価格で取り引きされていると判断する株式を選定します。
③ 株価の下落余地と上昇余地を厳格に分析し、リスクを低減しつつ、収益の獲得を目指します。

＊ 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USスモール・ミッド・キャップ・バリュー・ファンドです。

基準価額 （2026年1月31日現在）

基準価額	64,642円

基準価額の推移 （2026年1月31日現在）

運用実績 （2026年1月31日現在）

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	5.13%	9.71%	15.22%	7.73%	546.42%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率 （2025年12月31日現在）
（対組入証券時価総額）

北米	97.34%
ヨーロッパ	2.66%
アジア・太平洋	―
その他	―

＊1 業種は、GICS（世界産業分類基準）に基づきます。
＊2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

ファンドの概要 （2025年12月31日現在）

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	163百万米ドル
保有銘柄数	50銘柄

株式組入上位10銘柄 （対組入株式時価総額） （2025年12月31日現在）

銘 柄	業 種＊1	比 率＊2
ｱｸｼｽ･ｷｬﾋﾟﾀﾙ･ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	金融	2.98%
ヘリオス・テクノロジーズ	資本財・サービス	2.93%
ｾﾚｸﾃｨﾌﾞ･ｲﾝｼｭｱﾗﾝｽ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	金融	2.92%
ボンティエ	情報技術	2.90%
アライアント・エナジー	公益事業	2.88%
クエーカー・ケミカル	素材	2.78%
ﾋﾞｼﾞﾈｽ･ﾌｧｰｽﾄ･ﾊﾞﾝｸｼｪｱｰｽﾞ	金融	2.72%
リテルヒューズ	情報技術	2.70%
ボール	素材	2.67%
フルトン・ファイナンシャル	金融	2.67%
上位10銘柄の合計		28.14%

業種別構成比率＊1 （2025年12月31日現在）
（対組入株式時価総額）

金融	24.02%
資本財・サービス	19.18%
情報技術	13.67%
一般消費財・サービス	10.39%
素材	8.93%
不動産	6.96%
ヘルスケア	6.77%
エネルギー	4.86%
公益事業	2.88%
生活必需品	2.34%
コミュニケーション・サービス	―

運用コメント （2025年12月31日現在）

【市場概況】 12月の米国中小型割安株式市場は上昇しました。
上旬は、雇用関連指標が市場予想を下回り利下げ観測が高まったことに加え、米連邦準備制度理事会（FRB）が米連邦公開市場委員会（FOMC）で市場予想通り0.25%の利下げを決定したことなどが好材料となり、上昇しました。中旬は、人工知能（AI）投資を巡る不透明感や、11月の米雇用統計が労働市場の減速を示唆する内容だったことなどが重しとなり、一時下落しました。その後、11月の米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことや、AI投資需要の強さが確認されたことなどが好感され、市場は上昇に転じました。下旬は、主要株価指数が過去最高値圏で推移するなか、利益確定や持ち高調整の売りが優勢となり、月末にかけて下落しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。金融や資本財・サービス・セクターなどがプラスに寄与した一方、ヘルスケアやエネルギー・セクターなどがマイナスに影響しました。

【運用方針】 当ファンドは、2026年の米国中小型割安株式市場に対して前向きな見方をしています。米国経済は底堅く推移しており、輸送や資本財などの景気敏感セクターで緩やかな改善が期待されます。インフレ率の高止まりや雇用の伸びの鈍化を背景に低所得者層の消費は弱含んでいるものの、株価上昇の恩恵を受ける高所得者層の消費は底堅く、全体の需要を支えています。また、FRBによる追加利下げや財政刺激策が経済成長を後押しする可能性もあります。株式市場のバリュエーションは過去の水準から見て割安とは言えないものの、ヘルスケア・セクターを中心に魅力的な投資機会が見られます。一方で、AI関連銘柄をめぐり市場の変動が高まる局面があると見て留意しています。こうした環境下、当ファンドは、優れた経営体制、安定した収益性、低い負債比率を備えながらも市場で過小評価されている、質の高い割安企業に注目しています。これらの企業は、経済環境の変動に左右されにくく、持続的な成長が期待できると考えます。
今後も、市場上昇時のリターン獲得を目指すとともに、下落局面では、下落リスクの予測や分析に基づいて損失を最小限に抑えることを目指す運用を行っていく方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライイング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライイング・ファンドのものです。
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0126 (20) 0226 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：ジャナス外国株式フォーティ

ジャナス・フォーティ・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド*への投資を通して、米国株式を実質的な主要投資対象とします。

① 主に米国の大型成長株式に投資します。
② 徹底した個別企業のリサーチに基づき、20～40銘柄程度をポートフォリオの中核として集中投資します。
③ 革新性があり、中長期的に高い成長可能性を持つと考える銘柄を選好します。
＊ 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USフォーティ・ファンドです。

基準価額 （2026年1月31日現在）

基準価額	132,297円

基準価額の推移 （2026年1月31日現在）

運用実績 （2026年1月31日現在）

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	−3.94%	−4.46%	3.72%	10.64%	1222.97%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率 （2025年12月31日現在）
（対組入証券時価総額）

北米	90.17%
ヨーロッパ	1.93%
アジア・太平洋	5.09%
その他	2.81%

＊1 業種は、GICS（世界産業分類基準）に基づきます。
＊2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

ファンドの概要 （2025年12月31日現在）

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	1,419百万米ドル
保有銘柄数	31銘柄

株式組入上位10銘柄 （対組入株式時価総額） （2025年12月31日現在）

銘柄	業種＊1	比率＊2
エヌビディア	情報技術	9.62%
マイクロソフト	情報技術	9.25%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	8.53%
ブロードコム	情報技術	6.31%
台湾積体電路製造[TSMC/台湾ｾﾐｺﾝﾀﾞｸﾀｰ]	情報技術	5.09%
アルファベット	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	4.94%
アップル	情報技術	4.69%
オラクル	情報技術	4.36%
イーライリリー・アンド・カンパニー	ヘルスケア	4.09%
マスターカード	金融	3.24%
上位10銘柄の合計		60.11%

業種別構成比率＊1 （2025年12月31日現在）
（対組入株式時価総額）

情報技術	45.14%
一般消費財・サービス	18.72%
ヘルスケア	12.01%
資本財・サービス	7.63%
金融	7.39%
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	7.28%
生活必需品	1.83%
エネルギー	―
素材	―
公益事業	―
不動産	―

運用コメント （2025年12月31日現在）

【市場概況】 12月の米国大型成長株式市場は下落しました。
上旬は、弱い雇用関連指標を受けて利下げ観測が高まったことに加え、米連邦準備制度理事会（FRB）が市場予想通り0.25%の利下げを決定したことが好感され、上昇基調で推移しました。中旬は、人工知能（AI）投資を巡る不透明感や、11月の米雇用統計が労働市場の減速を示唆する内容だったこと、ヘルスケア関連銘柄の軟調が重しとなり、大幅に下落しました。その後、11月の米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回り、AI投資需要の強さが確認されたことを受け、市場は反発しました。下旬は、ハイテク株を中心に買いが入り続伸した後、主要株価指数が過去最高値圏で推移するなか利益確定や持ち高調整の売りが優勢となったことから、月末にかけて下落しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。業種別では、一般消費財・サービスや金融セクターなどがプラスに寄与した一方、情報技術やコミュニケーション・サービス・セクターなどがマイナスに影響しました。

【運用方針】 米国経済が底堅く推移する中、2026年の米国大型成長株式市場に対して前向きな見方をしています。株価上昇の恩恵を受ける高所得者層を中心に個人消費は堅調で、失業率も低水準にあります。また、FRBの利下げ、規制緩和や税制改正、企業の合併・買収（M&A）の活発化は企業の追い風になると見ています。
このような環境下、AI、ライフサイエンス分野のイノベーション、決済・商取引のデジタル化、クラウドの活用拡大、生産拠点の国内回帰（リショアリング）といった長期テーマに注目しています。AIについては、企業の設備投資が加速する中、製品やサービスにAIが組み込まれることで、様々な産業で生産性の向上が期待されます。当ファンドは、健全に成長する市場において競争優位性を持つ企業や、市場に十分に評価されていない魅力的な企業の発掘に努めています。また、株式市場の動向やマクロ経済を注視しつつ、企業のビジネスモデルやファンダメンタルズの評価に取り組んでいきます。今後も、徹底した企業調査・分析に基づき、長期的な信託財産の成長を目的とした運用を行う方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライイング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライイング・ファンドのものです。
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0126 (20) 0226 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国債券インデックス・ファンドVA1＜適格機関投資家限定＞ 月次運用報告書

追加型投信／海外／債券／インデックス型
2026年1月30日現在

設定・運用：
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

基準価額	23,497円
純資産総額	157百万円
銘柄数（マザーファンド）	626
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.308%（税抜0.28%）

マザー純資産総額	84,314百万円
推定トラッキングエラー	0.01%

＜商品の特色＞
◆投資目的
日本を除く世界の主要国の公社債を投資対象とした「外国債券ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾏｻﾞｰ・ﾌｧﾝﾄﾞ」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の債券市場（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース））の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。
◆投資対象
外国債券ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾏｻﾞｰ・ﾌｧﾝﾄﾞ受益証券を主たる投資対象とします。

＜1月の市場概況＞
1月の海外債券市場は、デンマーク領グリーンランドを巡る米欧の関係悪化懸念が債券の買い材料になりましたが、米経済の底堅さや日本の長期金利上昇に加えて、英国の政治・財政懸念や米連邦準備理事会（FRB）次期議長に指名されたウォーシュ元FRB理事が金融緩和に消極的なタカ派との見方が重荷となりました。
米国市場は、米インフレ鈍化や地政学リスクへの警戒感が相場を支えましたが、米経済の底堅さや日本の長期金利上昇に加えて、FRB次期議長に指名されたウォーシュ元FRB理事が金融緩和に消極的なタカ派との見方も重荷となる中、債券が売られました。米国　10年国債利回りは前月末から0.07%上昇の4.24%となりました。
欧州市場は、日本の長期金利上昇や英国の政治・財政懸念が重荷となりましたが、FRBの独立性と金融政策の信認を巡る懸念やグリーンランドを巡る米欧の関係悪化懸念が債券の買い材料になりました。独10年国債利回りは前月末から0.01%低下の2.84%、英10年国債利回りは前月末から0.04%上昇の4.52%となりました。

設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移
2026年1月30日現在

注：ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）のデイリー・リターンをTTM レートで円換算し、2004年6月10日を10,000として換算し直しています。

分配実績(税引前)
第6期　(2010.2.22) 0円　第7期　(2011.2.21) 0円　第8期 (2012.2.20) 0円　第9期　(2013.2.20) 0円
第10期 (2014.2.20) 0円　第11期 (2015.2.20) 0円　第12期 (2016.2.22) 0円　第13期 (2017.2.20) 0円
第14期 (2018.2.20) 0円　第15期 (2019.2.20) 0円　第16期 (2020.2.20) 0円　第17期 (2021.2.22) 0円
第18期 (2022.2.21) 0円　第19期 (2023.2.20) 0円　第20期 (2024.2.20) 0円　第21期 (2025.2.20) 0円

通貨別構成比※

通貨	比率
米ドル	45.19%
ユーロ	29.72%
中国人民元	11.70%
英ポンド	6.01%
カナダドル	2.13%
その他	5.14%

残存年数別構成比※

残存年数	比率
1年未満	0.77%
1～3年	28.55%
3～7年	33.57%
7～10年	14.51%
10年以上	22.50%

基準価額騰落率	設定来	1年間
（税引前分配金込）	134.97%	9.31%

騰落率

	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	−0.90%	−0.87%	−0.03%
3ヶ月	1.63%	1.71%	−0.09%
6ヶ月	7.23%	7.42%	−0.19%
1年	9.31%	9.71%	−0.40%
2年	14.85%	15.72%	−0.86%
3年	31.52%	32.98%	−1.47%
設定来	134.97%	155.58%	−20.61%

上位10銘柄※

銘柄名			比率	通貨	残存年数
アメリカ国債	4.250%	2029/2/28	0.83%	USD	3.08
中国国債	2.750%	2029/6/15	0.80%	CNY	3.37
アメリカ国債	1.625%	2029/8/15	0.75%	USD	3.54
アメリカ国債	0.625%	2027/11/30	0.74%	USD	1.83
アメリカ国債	2.375%	2027/5/15	0.72%	USD	1.29
中国国債	2.370%	2029/1/15	0.72%	CNY	2.96
アメリカ国債	1.750%	2029/1/31	0.66%	USD	3.00
アメリカ国債	0.375%	2027/9/30	0.66%	USD	1.67
アメリカ国債	2.625%	2029/2/15	0.64%	USD	3.04
イタリア国債	2.000%	2028/2/1	0.64%	EUR	2.00

※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
○当ファンドは主に外国の公社債に投資するため、組入れた公社債の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：ジャナス外国債券フレックス

ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド*への投資を通して、米国債券を実質的な主要投資対象とします。

① 主に米国の債券に投資し、利子収入と値上がり益の獲得による、トータル・リターンの最大化を目指します。
② 市場環境の変化をとらえ、米国の国債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債などへの投資比率を機動的に変更します。
③ 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。
＊ 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・フレキシブル・インカム・ファンドです。

基準価額 (2026年1月31日現在)

基準価額	27,228円

基準価額の推移 (2026年1月31日現在)

運用実績 (2026年1月31日現在)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	−0.96%	1.12%	6.29%	6.50%	172.28%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

ファンドの概要 (2025年12月31日現在)

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	514百万米ドル
保有銘柄数	522銘柄
平均クーポン	4.70%
直接利回り	4.87%
最終利回り	5.12%
実効デュレーション	5.78年
現預金等比率	1.71%

社債組入上位10銘柄（対組入債券時価総額） (2025年12月31日現在)

銘柄	利率＊1	満期(年/月/日)＊1	業種＊2	比率＊4
ブーズ・アレン・ハミルトン	5.950%	2035/04/15	その他産業	0.74%
シティグループ	5.592%	2034/11/19	銀行	0.72%
ロブロックス	3.875%	2030/05/01	通信	0.67%
ウェルズ・ファーゴ	5.244%	2031/01/24	銀行	0.64%
モルガン・スタンレー・プライベート・バンク	4.734%	2031/07/18	銀行	0.61%
センティーン	4.250%	2027/12/15	保険	0.58%
コアウィーブ	9.000%	2031/02/01	テクノロジー	0.54%
バンク・オブ・アメリカ	5.744%	2036/02/12	銀行	0.54%
バンク・オブ・アメリカ	5.162%	2031/01/24	銀行	0.53%
ファウンドリーJV	5.875%	2034/01/25	テクノロジー	0.52%
上位10銘柄の合計				6.10%

地域別構成比率（対組入証券時価総額） (2025年12月31日現在)

北米	94.06%
ヨーロッパ	1.51%
アジア・太平洋	0.37%
その他	4.06%

資産別構成比率（対純資産総額） (2025年12月31日現在)

国債	14.09%
政府関連債	―
モーゲージ債等	37.62%
投資適格社債	19.21%
ハイイールド債	15.01%
その他	12.36%
現預金等	1.71%

格付別構成比率＊3（対組入債券時価総額） (2025年12月31日現在)

AAA格	15.89%
AA格	41.41%
A格	7.14%
BBB格	17.47%
BB格	11.73%
B格	2.98%
CCC格以下	―
格付けなし	3.38%

＊1 割引債など利率が無い銘柄、永久債など満期の無い銘柄は「―」で表示しています。
＊2 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。
＊3 主要格付機関による格付けの中間値。
表記方法はS&Pに準じています。
＊4 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント (2025年12月31日現在)

【市場概況】 12月の米国債券市場では、長期金利が上昇しました。社債や証券化商品の信用スプレッド（国債利回りに対する上乗せ利回り）は小幅に縮小しました。上旬は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.25%の利下げが決定された一方で、今後の利下げペース減速の可能性が警戒され、長期金利が上昇しました。中旬は、人工知能（AI）への過剰投資が警戒され株安となったことや、11月の米雇用統計が弱含んだことなどへの懸念から安全資産が買われ、長期金利は低下傾向で推移しました。下旬は、底堅い個人消費が示されたことに加え、12月のFOMC議事要旨で2026年の追加利下げに対する慎重姿勢が示唆されたことから、長期金利の低下は限定的でした。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。債券種別では、ハイイールド債や不動産抵当証券担保債券（CMO）などがプラスに寄与した一方、国債と投資適格社債がマイナスに影響しました。業種別では、証券・運用会社・取引所やレジャー・セクターなどがプラスに寄与した一方、テクノロジーやメディア・娯楽セクターなどはマイナスに影響しました。

【運用方針】 米国経済は、減税によって支えられた堅調な個人消費、AI投資の継続、企業のAI導入による生産性の向上などを背景に、成長が続くと考えます。また、関税による影響は2026年後半にかけて薄れていくと予想されます。堅調な景気や米国の財政赤字拡大などを背景に金利は高止まりする可能性があると見ています。その一方で、トランプ大統領が利下げ推進派を次期FRB議長に指名する可能性が高く、利下げにより短期金利は低下すると予想されることから、当ファンドでは短期年限の債券を多めに保有しています。
社債および証券化商品については、堅調な企業業績などを背景に信用スプレッドが過去と比べてタイトな水準まで縮小している点を慎重に見ています。証券化商品は、社債に比べてスプレッドの縮小余地があり、高い格付けを有することから選好しています。今後も高水準のインカムを確保したい投資家からの需要が市場を支えることが期待されるものの、インカムの確保と下落リスク抑制を意識しつつ、運用することが重要と考えます。
今後も銘柄選択と債券種別の分散を重視しながら、機動的に資産配分を調整し、リスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライイング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライイング・ファンドのものです。
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0126 (20) 0226 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：ジャナス外国債券ハイイールド

ジャナス・ハイイールド・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド*への投資を通して、米国ハイイールド債を実質的な主要投資対象とします。

① 主に米国のハイイールド（高利回り）債に投資し、高水準の利子収入と値上がり益の獲得を目指します。
② 多角的に企業の調査・分析を行い、社債銘柄を選別し投資します。
③ 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。
＊ 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・ハイイールド・ファンドです。

基準価額	（2026年1月31日現在）	40,918円

基準価額の推移

（2026年1月31日現在）

運用実績

（2026年1月31日現在）

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	−0.33%	2.44%	7.26%	8.27%	309.18%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

ファンドの概要

（2025年12月31日現在）

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	332百万米ドル
保有銘柄数	156銘柄
平均クーポン	7.34%
直接利回り	7.15%
最終利回り	7.08%
実効デュレーション	2.72年
現預金等比率	1.68%

社債組入上位10銘柄（対組入債券時価総額）

（2025年12月31日現在）

銘柄	利率*1	満期（年/月/日）*1	業種*2	比率*4
トールグラス・エナジー・パートナーズ/ファイナンス	6.750%	2034/03/15	エネルギー	2.48%
キオクシアホールディングス	6.625%	2033/07/24	テクノロジー	2.09%
シーザーズ・エンターテインメント	6.000%	2032/10/15	景気循環消費財	1.56%
スター・ペアレント	9.000%	2030/10/01	非景気循環消費財	1.54%
ジェーン・ストリート・グループ/JSG ファイナンス	6.125%	2032/11/01	証券仲介・資産運用・取引所	1.53%
ハワード・ミッドストリーム・エナジー	6.625%	2034/01/15	エネルギー	1.50%
ライフポイント・ヘルス	10.000%	2032/06/01	非景気循環消費財	1.50%
ベリティブ・オペレーティング	10.500%	2030/11/30	素材	1.48%
ファースト・クァンタム・ミネラルズ	8.000%	2033/03/01	素材	1.41%
モヒガン・トライバル・ゲーミング・オーソリティー	8.250%	2030/04/15	景気循環消費財	1.40%
上位10銘柄の合計				16.48%

地域別構成比率（対組入証券時価総額）

（2025年12月31日現在）

北米	90.08%
ヨーロッパ	2.44%
アジア・太平洋	3.64%
その他	3.84%

社債組入上位5業種*2（対組入債券時価総額）

（2025年12月31日現在）

景気循環消費財	24.35%
テクノロジー	13.28%
エネルギー	10.93%
素材	8.12%
通信	7.07%

格付別構成比率*3（対組入債券時価総額）

（2025年12月31日現在）

AAA格	―
AA格	―
A格	―
BBB格	0.07%
BB格	39.08%
B格	48.91%
CCC格以下	7.77%
格付けなし	4.17%

＊1 割引債など利率が無い銘柄、永久債など満期の無い銘柄は「ー」で表示しています。
＊2 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。
＊3 主要格付機関による格付けの中間値。表記方法はS&Pに準じています。
＊4 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント

（2025年12月31日現在）

【市場概況】 12月の米国ハイイールド債市場のトータルリターンは上昇しました。当月、米国ハイイールド債の信用スプレッド（国債利回りに対する上乗せ利回り）は縮小しました。
上旬は、雇用指標が市場予想を下回り、景気減速懸念が強まった一方で、米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.25%の利下げが決定されたことなどは好感され、米国ハイイールド社債市場のトータルリターンは一進一退となりました。人工知能（AI）への過剰投資が警戒され株安となったことや、11月の米雇用統計が弱含んだことなどへの懸念から米国ハイイールド社債市場のトータルリターンは上値の重い展開が続きました。下旬は、7-9月期の実質GDPが市場予想を上回る伸びとなり、底堅い個人消費が示されたことなどを支えに堅調に推移しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。業種別では、テクノロジーやカジノ・セクターなどがプラスに寄与した一方、その他金融や住宅建設セクターなどはマイナスに影響しました。

【運用方針】 米国経済は、減税によって支えられた堅調な個人消費、AI投資の継続、企業のAI導入による生産性の向上などを背景に、成長が続くと考えます。データセンターを中心としたAIインフラ投資が株式市場の追い風となっていますが、AI以外の分野でも投資が拡大していくと見ています。多くの企業が人工知能（AI）を活用することで、生産性の向上やコスト削減を進め、収益増加に繋がると考えます。また、関税や移民制限、地政学リスクによる悪影響は緩和しつつあることもプラス材料と見ています。
その一方で、高い利回りを求める投資家の米国ハイイールド債に対する需要は継続すると見ていますが、ハイイールド債のクレジットスプレッドは過去比で縮小しています。今後のスプレッド縮小余地が狭まっていることから、よりインカムを重視していく方針です。また、利下げにより短期金利は低下すると予想されることから、当ファンドでは短期年限の債券を多めに保有しています。
今後も徹底したボトムアップ・リサーチと厳格なリスク管理により、リスクを抑制しつつリターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライイング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライイング・ファンドのものです。
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0126 (20) 0226 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：SMAM・バランス25,50,75

SMAM・バランスファンドVA25,50,75

ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

【SMAM・バランスファンドVA25】

● 設定来の運用実績

■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、ＴＯＰＩＸ(東証株価指数、配当込み)、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ(総合)、ＭＳＣＩコクサイインデックス(配当込み、円ベース)、ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来*
ファンド	−0.16%	0.46%	5.37%	6.41%	95.14%
合成指数	−0.12%	0.59%	5.63%	7.03%	116.57%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

(2026年1月30日現在)

	ファンド	基本資産配分
国内株式	14.9%	15.0%
外国株式	9.9%	10.0%
株式合計	24.9%	25.0%
国内債券	40.2%	40.0%
外国債券	34.7%	35.0%
債券合計	74.9%	75.0%

【SMAM・バランスファンドVA50】

● 設定来の運用実績

■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、ＴＯＰＩＸ(東証株価指数、配当込み)、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ(総合)、ＭＳＣＩコクサイインデックス(配当込み、円ベース)、ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来*
ファンド	0.60%	2.22%	9.88%	12.54%	179.58%
合成指数	0.61%	2.24%	9.92%	13.13%	213.65%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

(2026年1月30日現在)

	ファンド	基本資産配分
国内株式	25.5%	25.0%
外国株式	25.1%	25.0%
株式合計	50.6%	50.0%
国内債券	23.9%	25.0%
外国債券	25.1%	25.0%
債券合計	49.0%	50.0%

【SMAM・バランスファンドVA75】

● 設定来の運用実績

■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、ＴＯＰＩＸ(東証株価指数、配当込み)、ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ(総合)、ＭＳＣＩコクサイインデックス(配当込み、円ベース)、ＦＴＳＥ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来*
ファンド	1.32%	4.01%	14.67%	19.49%	288.72%
合成指数	1.34%	4.17%	14.96%	20.28%	347.18%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

(2026年1月30日現在)

	ファンド	基本資産配分
国内株式	35.8%	35.0%
外国株式	40.0%	40.0%
株式合計	75.8%	75.0%
国内債券	4.6%	5.0%
外国債券	19.3%	20.0%
債券合計	23.9%	25.0%

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：SMAM・バランス25,50,75

SMAM・バランスファンドVA25,50,75のマザーファンド

ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

〈参考情報 SMAM・バランスファンドVA25、50、75〉

◎ SMAM・バランスファンドVA25、50、75は次のマザーファンドを主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用されています。

国内株式 … 国内株式インデックス・マザーファンド（B号）
国内債券 … 国内債券パッシブ・マザーファンド
外国株式 … 外国株式インデックス・マザーファンド
外国債券 … 外国債券パッシブ・マザーファンド

● マザーファンドの基準価額の推移

■ 各マザーファンドの基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
国内株式	ファンド	4.63%	7.21%	22.55%	31.11%	232.51%
	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ*1	4.62%	7.21%	22.54%	31.07%	230.70%
国内債券	ファンド	−1.25%	−3.57%	−3.78%	−6.50%	11.14%
	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ*2	−1.26%	−3.60%	−3.82%	−6.53%	10.95%
外国株式	ファンド	−0.10%	3.53%	14.50%	18.75%	628.22%
	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ*3	−0.09%	3.60%	14.61%	19.07%	650.09%
外国債券	ファンド	−0.87%	1.70%	7.41%	9.76%	103.78%
	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ*4	−0.87%	1.71%	7.42%	9.70%	105.78%

※ 設定来は2006年8月31日を基準とします。
上記騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

*1…TOPIX（東証株価指数、配当込み）
*2…NOMURA－BPI(総合)
*3…MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）
MSCI Inc.が開発・公表する指数を三井住友DSｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄが独自に円換算したものです。
*4…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE Fixed Income LLCの開発・公表する指数を三井住友DSｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄが独自に円換算したものです。

※「シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）」は、「FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）」に名称変更されました。
※「Citigroup Index LLC」は、「FTSE Fixed Income LLC」に名称変更されました。

● マザーファンド純資産総額

（2026年1月30日現在）

	純資産総額（百万円）
国内株式	513,814
国内債券	138,428
外国株式	1,248,096
外国債券	214,980

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：SMAM・バランス25,50,75

SMAM・バランスファンドVA25,50,75のマザーファンド

ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

〈参考情報 SMAM・バランスファンドVA25、50、75〉

マザーファンドの状況（2026年1月30日現在）

【国内株式】

マザーファンド名：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.7%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.4%
3	日立製作所	2.7%
4	ソニーグループ	2.3%
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.3%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.9%
7	東京エレクトロン	1.7%
8	三菱商事	1.7%
9	三菱重工業	1.7%
10	ソフトバンクグループ	1.6%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,616 ）

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	18.6%
2	銀行業	11.0%
3	卸売業	8.0%
4	輸送用機器	6.9%
5	情報・通信業	6.5%
6	機械	6.4%
7	化学	4.5%
8	小売業	4.2%
9	医薬品	3.6%
10	サービス業	3.4%

※マザーファンド現物株式評価額対比

【国内債券】

マザーファンド名：国内債券パッシブ・マザーファンド

● 債券種別構成

国債	80.9%
政府保証債	1.8%
地方債	7.8%
金融債	0.0%
事業債	8.3%
円建外債	0.0%
その他	1.2%

※マザーファンド債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	1.1%
1-3年	21.0%
3-5年	18.6%
5-7年	11.9%
7-10年	17.2%
10年以上	30.2%

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	480 2年国債	2.0%
2	380 10年国債	1.3%
3	474 2年国債	1.1%
4	376 10年国債	1.0%
5	378 10年国債	1.0%
6	373 10年国債	1.0%
7	366 10年国債	1.0%
8	361 10年国債	1.0%
9	181 5年国債	0.9%
10	367 10年国債	0.9%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　451 ）

【外国株式】

マザーファンド名：外国株式インデックス・マザーファンド

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.7%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	4.7%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.7%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.4%
6	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
8	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.8%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.4%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.0%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,141 ）

●国別投資比率

国名	比率
アメリカ	73.1%
イギリス	3.9%
カナダ	3.7%
スイス	2.8%
ドイツ	2.5%
その他	14.0%

※マザーファンド株式評価額対比

【外国債券】

マザーファンド名：外国債券パッシブ・マザーファンド

● 通貨別構成

アメリカドル	45.3%
ユーロ	29.8%
中国元(オフショア)	11.7%
イギリスポンド	6.0%
カナダドル	2.1%
その他	5.1%

※マザーファンド債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	0.2%
1-3年	29.0%
3-7年	34.2%
7-10年	14.3%
10年以上	22.3%

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	CHINA GOVERNMENT BOND 1.79 03/25/32	中国元(オフショア)	0.6%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	中国元(オフショア)	0.6%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	中国元(オフショア)	0.5%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 1.62 08/15/27	中国元(オフショア)	0.5%
5	CHINA GOVERNMENT BOND 1.46 05/25/28	中国元(オフショア)	0.5%
6	US TREASURY N/B 3.875 05/31/27	アメリカドル	0.5%
7	CHINA GOVERNMENT BOND 1.67 05/25/35	中国元(オフショア)	0.5%
8	US TREASURY N/B 4.625 02/15/35	アメリカドル	0.4%
9	US TREASURY N/B 4.25 05/15/35	アメリカドル	0.4%
10	US TREASURY N/B 3.875 08/15/34	アメリカドル	0.4%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　915 ）

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：ジャナス・バランス

ジャナス・バランス・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド*への投資を通して、米国株式と米国債券を実質的な主要投資対象とします。

① 主に米国の株式と債券に分散投資を行います。
② 市場環境に応じて株式と債券の投資比率を機動的に変更し、長期的に安定したトータル・リターンの獲得を目指します。
③ 株式と債券のアナリストのリサーチ力を融合し、個別企業の調査・分析に基づき、魅力的な投資機会を追求します。
＊ 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンドです。

基準価額 （2026年1月31日現在）

基準価額	64,492円

基準価額の推移 （2026年1月31日現在）

運用実績 （2026年1月31日現在）

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	−0.74%	0.78%	8.22%	12.28%	544.92%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

ファンドの概要 （2025年12月31日現在）

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	11,067百万米ドル
保有銘柄数	656銘柄

株式組入上位5銘柄 （対組入株式時価総額） （2025年12月31日現在）

銘柄	業種*1	比率*4
エヌビディア	情報技術	9.52%
マイクロソフト	情報技術	7.73%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	6.45%
アップル	情報技術	4.97%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	4.92%
上位5銘柄の合計		33.59%

社債組入上位5銘柄 （対組入債券時価総額） （2025年12月31日現在）

銘柄	利率*2	満期（年/月/日）	業種*3	比率*4
バンク・オブ・アメリカ	5.744%	2036/02/12	銀行	0.73%
CBREサービシズ	5.950%	2034/08/15	景気循環消費財	0.58%
ロケット・カンパニーズ	6.375%	2033/08/01	金融会社	0.56%
エーオン	5.450%	2034/03/01	保険	0.53%
ウェルズ・ファーゴ	5.244%	2031/01/24	銀行	0.52%
上位5銘柄の合計				2.92%

地域別構成比率 （対組入証券時価総額） （2025年12月31日現在）

北米	97.96%
ヨーロッパ	0.59%
アジア・太平洋	—
その他	1.45%

資産別構成比率 （対純資産総額） （2025年12月31日現在）

株式	64.34%
国債	7.99%
政府関連債	—
モーゲージ債等	11.60%
投資適格社債	7.82%
ハイイールド債	2.62%
その他	4.82%
現預金等	0.81%

株式組入上位5業種*1 （対組入株式時価総額） （2025年12月31日現在）

情報技術	35.47%
金融	16.25%
ヘルスケア	13.54%
コミュニケーション・サービス	12.17%
一般消費財・サービス	11.06%

＊1 業種は、GICS（世界産業分類基準）に基づきます。
＊2 割引債など利率が無い銘柄は「−」で表示しています。
＊3 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。
＊4 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント （2025年12月31日現在）

【市場概況】 12月の米国株式市場は乱高下が続きましたが、月間では若干上昇しました。月前半は、雇用市場の減速への警戒と米連邦公開市場委員会（FOMC）による利下げを背景に綱引きが続きましたが、人工知能（AI）投資に対する懐疑的な見方や、米雇用統計の弱含みが引き金となり、月央に急落しました。月後半は、米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことや底堅い個人消費などを手掛かりに大きく反発したものの、高値警戒感が再燃し失速しました。
米国債券市場では、長期金利が上昇しました。月前半は、FOMCで利下げが決定されたものの、利下げペース減速の可能性が意識され、金利の上昇圧力となりました。月後半は、株安や雇用統計悪化への懸念から長期金利は低下傾向で推移しましたが、底堅い個人消費やFOMC議事要旨で2026年の追加利下げに対する慎重姿勢が示唆されたことから、金利低下は限定的でした。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。株式部分では、金融や一般消費財・サービス・セクターなどがプラスに寄与した一方、情報技術や資本財・サービス・セクターなどはマイナスに影響しました。債券部分では、不動産抵当証券担保債券（CMO）やハイイールド債がプラスに寄与しましたが、国債や投資適格社債がマイナスに影響しました。

【運用方針】 当ファンドでは、労働市場の減速などの注意点はあるものの、設備投資の拡大や利下げ、減税政策などの後押しにより、米国経済の成長が継続するとの見通しを維持しています。データセンターを中心としたAIインフラ投資が株式市場の追い風となっていますが、AI以外の分野でも投資が拡大していくと見ています。多くの企業が人工知能（AI）を活用することで、生産性の向上やコスト削減を進め、収益増加に繋がっています。その一方で、企業が収益を確保しつつ、こうした投資から適切な成果を得ているかに注意を払っています。
債券市場においては、底堅い米国経済や堅固な企業ファンダメンタルズが支えとなり、社債や証券化商品には依然として魅力的な投資機会があると見ています。証券化商品は信用スプレッド（国債利回りに対する上乗せ利回り）の水準が社債に比べて魅力的であり、高い格付けを有することから選好しています。また、米国での財政赤字拡大などを受けて長期金利の高止まりが懸念される一方、利下げにより短期金利は低下すると予想されることから、当ファンドでは短期年限の債券を多めに保有しています。
今後も機動的に資産配分を調整し、良好なリスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライイング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライイング・ファンドのものです。
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0126 (20) 0226 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：グローバル不動産投信

ジャナス・グローバル・リアルエステート・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライイング・ファンド*への投資を通して、世界の不動産関連証券を実質的な主要投資対象とします。

① 主に世界のREIT（不動産投資信託）および不動産関連株式に投資します。
② 安定した配当収益の獲得と、長期（5年以上）にわたる証券価格の上昇を目指します。
③ 世界経済の構造的変化を捉え、成長性が高いと判断する業種や銘柄を見極め、投資します。

＊ 当ファンドのアンダーライイング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・エクイティ・インカム・ファンドです。

基準価額	（2026年1月31日現在）	33,100円

基準価額の推移

（2026年1月31日現在）

ファンドの概要

（2025年12月31日現在）

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	179百万米ドル
保有銘柄数	44銘柄
年率配当利回り	4.46%

組入上位5銘柄（対組入株式時価総額）

（2025年12月31日現在）

銘柄	国名	業種*1	比率*2
プロロジス	米国	工業用REIT	8.28%
ウェルタワー	米国	ヘルスケアREIT	6.89%
デジタル・リアルティー・トラスト	米国	データセンターREIT	5.56%
VICIプロパティーズ	米国	その他の専門REIT	4.35%
ベンタス	米国	ヘルスケアREIT	4.18%
上位5銘柄の合計			29.26%

運用実績

（2026年1月31日現在）

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	0.59%	2.54%	7.64%	7.49%	231.00%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率（対組入証券時価総額）

（2025年12月31日現在）

北米	73.46%
アジア・太平洋	17.55%
ヨーロッパ	8.99%
その他	―

種別構成比率（対組入株式時価総額）

（2025年12月31日現在）

米国REIT	73.45%
非米国REIT	25.27%
米国不動産関連株式	―
非米国不動産関連株式	1.28%

REIT組入上位5業種*1（対組入株式時価総額）

（2025年12月31日現在）

店舗用REIT	23.72%
ヘルスケアREIT	17.88%
工業用REIT	15.99%
集合住宅用REIT	8.10%
各種REIT	6.28%

＊1 業種は、GICS（世界産業分類基準）に基づきます。
＊2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント

（2025年12月31日現在）

【市場概況】 12月の世界のREITおよび不動産関連株式市場は下落しました。
米国市場は下落しました。上旬は、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ決定前にかけて米長期金利が上昇したことが嫌気され、下落しました。中旬は、米長期金利の上昇が一服して一時持ち直したものの、人工知能（AI）関連株の過熱感や米労働市場の弱さを受けて米国株が調整する中、市場も軟調な展開となりました。下旬は、米長期金利の低下を背景に一時持ち直しましたが、月末にかけて米長期金利が再び上昇すると、市場は再び下落しました。
欧州市場も下落しました。イングランド銀行（BOE）がインフレの緩和を受けて0.25%の利下げを実施したことや、欧州中央銀行（ECB）が景気見通しを引き上げたことはプラス材料となりましたが、米大手プライベートエクイティ投資会社による英国の大手貸倉庫業者への買収提案が取り下げられたことなどが重しとなりました。
国・地域別では、オーストラリアや英国などが上昇した一方、米国や香港などは低調でした。業種別では、不動産運営会社やヘルスケア施設などが上昇した一方、ヘルスケアREITやトランクルームREITなどは低調でした。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。国・地域別では、オーストラリアや英国などがプラスに寄与したものの、米国が大きくマイナスに影響しました。業種別では、工業用REITや店舗用REITなどがプラスに寄与した一方、ヘルスケアREITやオフィスREITなどはマイナスに影響しました。

【運用方針】 マクロ経済の先行きには不透明感が残るものの、世界のREITおよび不動産株式市場のファンダメンタルズは概ね堅調です。質の高い不動産に対する需要は底堅い一方で、近年の金利上昇を背景に新規供給が抑制されていることから、不動産所有者は賃料の引き上げや稼働率の改善を通じて価格決定力を高めています。また、米国をはじめとする主要国では、利下げを背景に資金調達コストの改善が見込まれます。
こうした環境下、当ファンドでは、強固なバランスシート、優れた経営陣、優良物件を有し、さらに安定した配当が見込める銘柄を選好しています。業種別では、堅調な消費に支えられた小売施設や需給環境が改善している集合住宅のほか、高齢化や人口動態といった構造的変化を背景にニーズが高まる高齢者向け住宅や医療施設に注目しています。一方で、米国のオフィスREITは引き続き需要が弱く、テナントの縮小が見られることから慎重なスタンスを維持しています。
今後も徹底したボトムアップ・リサーチにより、魅力的な投資機会の発掘に注力していく方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライイング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライイング・ファンドのものです。
当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-0126 (20) 0226 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：マネーA

フィデリティ・マネー・プールVA

ダブルウィング

◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

商品概要

形　態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設 定 日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決 算 日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定来の運用実績 (2026年1月30日現在)

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

純資産総額	57.9 億円	(2026年1月30日現在)

累積リターン (2026年1月30日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.00%	0.02%	0.06%	0.08%	−0.08%	0.43%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円
第 24期(2025.12.01)	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース) (2025年12月30日現在)

	銘 柄	種類	格付	比率
1	1347国庫短期証券 2026/03/09	債券	A	32.2%
2	1343国庫短期証券 2026/02/16	債券	A	22.9%
3	1334国庫短期証券 2026/01/07	債券	A	22.0%
4	1335国庫短期証券 2026/01/13	債券	A	6.8%
5	1344国庫短期証券 2026/02/24	債券	A	4.2%
6	1337国庫短期証券 2026/01/19	債券	A	3.0%
7	1348国庫短期証券 2026/03/16	債券	A	2.0%
8	−	−	−	−
9	−	−	−	−
10	−	−	−	−

(組入銘柄数 ： 7)　上位10銘柄合計 93.2%
(対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2025年12月30日現在)

資産別組入状況

債券	93.2%
CP	−
CD	−
現金・その他	6.8%

組入資産格付内訳

長期債券格付	AAA/Aaa	−
	AA/Aa	−
	A	93.2%
短期債券格付	A−1/P−1	−
	A−2/P−2	−
現金・その他		6.8%

平均残存日数	43.38日
平均残存年数	0.12年

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信株式会社

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

募集代理店

PRESTÍA

株式会社SMBC信託銀行

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル　0120-125-104
https://www.ms-primary.com